

がん化学療法プロトコール

氏名: _____
 ID: _____
 体表面積: _____ m² 体重: _____ kg

プロトコール名 **FEC100療法**

対象疾患 乳がん

診療科

施用者 _____

1 投与薬剤名、投与量、投与方法

	投与薬剤名	投与量	投与可能量(mg)	溶解、希釈液	投与方法
①	イメンド	1セット(3日分)			エピルビシン投与60分前に、1日目を服用
②	生食	250mL			血管確保とフラッシュ
③	デキサート	9.9mg/3mL (3A)		混注	15分かけて点滴静注
	グラニセトロン バッグ	3mg/50mL (1袋)			
④	エピルビシン	100mg/m ²		生食 50mL	15分かけて点滴静注
⑤	エンドキサン	500mg/m ²		生食 100mL	30分かけて点滴静注
⑥	5FU	500mg/m ²		生食 50mL	15分で点滴静注

2 投与方法の図式

時間 (hour)	0.5	1	1.5	2	2.5
①イメンド	↓				
②生食	→	→	→	→	
③グラニセトロンなど		→			
④エピルビシン		→			
⑤エンドキサン			→	→	
⑥5FU				→	

3 投与スケジュール

1クール21日間。術後補助療法の場合は、合計で4回行う。エピルビシンは総投与量900mg/m²まで。

4 特記事項

- ・ エピルビシンは総投与量900mg/m²まで。
- ・